



特定非営利活動法人日本ボリビア人協会 二十年のあゆみ

特定非営利活動法人日本ボリビア人協会

●特定非営利活動法人日本ボリビア人協会とは

1995年9月5日、大阪市のカトリック教会に50人の在日ボリビア人が集まり ARBK（関西ボリビア人会）を設立しました。

設立の背景は、在日ボリビア人が抱える法的および社会的な問題の相談に応じるためでした。その後、活動範囲を関西だけでなく全国に広めるために、2010年に「日本ボリビア人協会」と改称し、2012年3月にNPO法人となりました。

●日本ボリビア人協会の主な取り組み

日本ボリビア人協会の活動は、主に下記の5つです。その中でも特に特色のあるものをご紹介します。

1. 日常生活における相談窓口
2. 日本語教室・日本語教材作成
3. ボリビアの文化紹介
4. 国際交流
5. 翻訳・通訳（スペイン語・日本語）

①日本語教室・日本語教材作成

1) 事業目的

- ・日本語を習得することを目的としています。
- ・通信講座を設けて、直接クラスに出席することが困難な人々にも勉強をする機会を設けました。

2) 期間

2012年10月～2013年1月

3) 対象

三重県在住のスペイン語圏の外国人

4) 内容

- ・就職活動のために必要な日本語（履歴書・面接など）の訓練
- ・日常生活に必要な簡単な日本語会話の訓練



通信講座で使用している教材 日本語教室の開催風景

②「生活者としての外国人」のための日本語教育通信講座 モデル事業～スペイン語版～

1) 概要

平成24年度から「生活者としての外国人」のための日本語教育事業（文化庁委託）として、自宅学習を希望する外国人に対して、「通信講座」という形式での日本語教育を行いました。そのために、下記の4つを実施しました。

- ・「生活者としての外国人」のための、通信教育用の日本語教材を開発
- ・郵送受送信による、通信教育の実施
- ・講座受講期間中、定期的なスクーリングまたは個別・グループ相談を行い、学習の進捗や習得状況などの確認
- ・本事業を通じて得られた通信講座の成果や課題、今後の展開などについて、広く共有するための成果発表会の開催

2) 事業目的

日本語教室に継続的に参加することが難しい人や教室だけでは不十分だと感じている人に、「通信講座」という形式に必要な日本語学習機会を提供します。また、通信講座だけでは不十分な人には教室参加を促しています。

3) 成果

受講者21人のうち、20人が修了しました。また、コース開始前後で、筆記試験で理解度を図ったところ、修了者全員が日本語力を向上させることができていまし



た。年度中に通信講座用のテキストも完成することができました。成果発表会として開催したシンポジウムでは、地域内外の方々に周知できました。

これらの平成 26 年度の活動を踏まえ、今年度は下記のように進めています。

1) 事業目的

- ・平成 26 年度、三重県津市において実施した『生活者としての外国人』のための日本語教育通信講座モデル事業～スペイン語版～（文化庁委託）の成果と課題を踏まえて、今年度は改訂版を実施します。
- ・ニーズの高かった愛知県知多市において事業を実施し、成果の普及を図ります。
- ・スペイン語以外の言語で同プログラムの実施を希望する地域に対し、運営や教材開発などのノウハウを普及します。

2) 事業内容

- ・通信講座「新版：家で学べる生活日本語～スペイン語版～」実施
- ・通信講座用教材「新版：家で学べる生活日本語～スペイン語版～」開発
- ・シンポジウム「もう一つの地域日本語教育の可能性～通信講座の成果と課題～in あいち」開催＋運営委員会

3) 実施期間

平成 27 年 4 月 13 日（月）～平成 28 年 3 月 20 日（日）

4) 目標とする事業成果（イメージ）

- ・自宅での日本語学習機会が提供できている。
- ・津市で行った通信講座の一連の流れ（ハウツー）が、知多市に共有されている。
- ・日本語教室と通信講座の連携ポイントが具体的に示されている。
- ・知多市での実践経験（成果・課題など）が、愛知県内の日本語教育関係者に共有されている。

③ボリビアの文化紹介

Expo Bolivia（三重県・東京都・大阪府）の開催

1) 事業目的

日本人とボリビア人の交流の場を設けることにより、一層の理解の推進を期待して実施しています。



Expo Bolivia での民族舞踊 Expo Bolivia の様子

2) 概要

2008 年～現在まで全 8 回開催しています。会場は、三重県、東京都、大阪府と複数で開催しています。

3) 内容

セミナー開催、ボリビア料理および特産品の販売、著名な画家の絵画の展示、伝統的な民族舞踊と音楽など、ボリビアの国および文化の紹介をしています。東京都新宿区と三重県津市を中心とした自治体と協働で企画、実施をしています。

●自治体との協働について

行政の理解が強いことは、非常に心強いです。特に Expo Bolivia では、非常に協力的です。

特に地元の津市が協力的で、講座を開いたり、最新情報を提供してくれたり、市民への広報にも力を入れてくれています。

●新たな取り組み

今後、在日ボリビア人の高齢化が進み、新たに言語を学ぶことが困難になると予想されます。これらの人々のソーシャルワークの新たな代替案を作成することが急務だと考えています。

そのため、まずはフェアトレード製品の製作、販売を通して収入を得るなど、ボリビア人自身がもっと自立するような取り組みが必要だと考えています。